

2026 年 8 月 27 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード:3762)

Java 対応静的解析・単体テストツール「Jtest 2026.1」の販売を開始 静的解析違反の自動修正や MCP サーバー連携により、生成 AI によるコードの品質確保を支援

テクマトリックス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:矢井隆晴、以下「テクマトリックス」)は、米国 Parasoft Corporation(本社:米国カリフォルニア州、最高経営責任者:Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」)が開発した Java 対応静的解析・単体テストツール「Jtest 2026.1」の販売を 2026 年 8 月 27 日より開始します。

「Jtest」は、静的解析と単体テスト支援により、Java ソースコードの品質向上を実現するテスト自動化ツールです。4,000 個以上のコーディングルールをもとに静的解析し、プログラムの問題点や処理フローに潜む検出困難なエラーを検出します。また、JUnit で利用可能なテストテンプレートやモックを自動作成し、単体テストにかかる工数を削減します。開発プロセスに Jtest を組み込むことで、カバレッジの向上や Java 開発の品質向上が期待できます。

生成 AI によるコーディング支援の普及に伴い、開発効率の向上が進む一方で、生成コードの品質やセキュリティをいかに担保するかが重要な課題となっています。Jtest は、静的解析による継続的な品質チェックと生成 AI の活用を組み合わせることで、この課題の解決を支援します。

このたびのバージョンアップでは、静的解析と生成 AI の連携を強化し、品質確保と開発効率化を支援する機能を追加しました。MCP(Model Context Protocol)サーバー連携により、生成 AI エージェントが静的解析結果やカバレッジ情報を取得し、違反修正やテストケース作成に活用できるようになりました。また、GitHub Copilot CLI や Codex CLI など任意のコーディングエージェントと連携し、静的解析違反の自動修正や単体テストの生成を強化しました。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、Java システム開発に携わるすべてのお客様の課題解決に最適なツールとして、Jtest の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【Jtest 2026.1 の新機能】

● MCP サーバー連携機能

AI エージェントや GitHub Copilot などの LLM ベースのコーディングアシスタントとの統合を可能にする MCP サーバー拡張機能が追加されました。Eclipse、IntelliJ、Visual Studio Code など、MCP サーバーをサポートする LLM 対応の開発環境で利用できます。

MCP サーバーを介して、AI エージェントが Jtest の静的解析結果およびカバレッジ情報を取得できるようになりました。これにより、開発者は検出された問題に対する修正の支援や修正結果の検証を AI と連携して実施できます。また、カバレッジ情報を取得できることにより、カバレッジ行や未カバレッジ行を特定できるようになりました。これにより、AI を活用した未カバレッジ箇所向けのテストケース作成を効率化し、カバレッジの向上を支援します。これらの機能により、品質確保にかかる工数を削減しながら、より高品質なソフトウェア開発を実現します。

※ Jtest には LLM プロバイダーの利用契約は含まれておりません。利用者が個別に契約する必要があります。また、AI の利用に関しては必ずお客様の組織のポリシーをご確認ください。

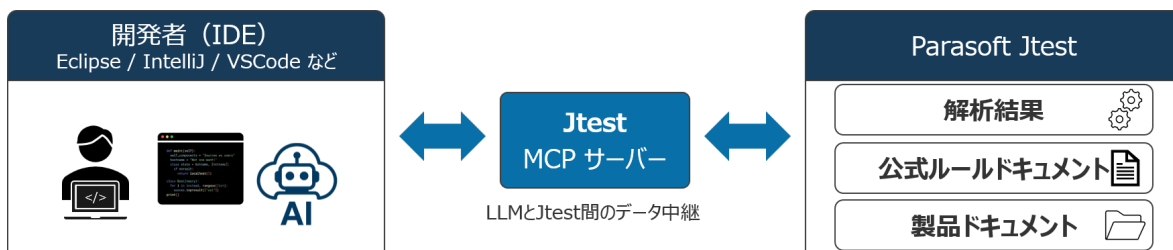


図 1:MCP サーバー連携機能の利用イメージ

● AI コーディングエージェントと連携し、静的解析修正と単体テスト生成を自動化

AI コーディングエージェント向けの Java ワークフロー「jtest-static-analysis」と「jtest-unit-testing」が Skills として提供されました。「jtest-static-analysis」は、静的解析違反の検出、修正支援、修正結果の検証などを行い、「jtest-unit-testing」は単体テストの自動生成や生成したテストの検証を支援します。これらの Skills を活用することで、AI エージェントによる静的解析違反への対応やテスト作成の自動化を実現できます。

● 静的解析の違反の自動修正

> jtest-static-analysis を使用して、優先度の高い順に違反を修正してください。
ただし、この実行では最大2件までの違反のみを修正します。

実行結果サマリー

項目	内容
修正行数	2
成功	2
失敗	0
コミット	なし (ローカル変更として残存)

修正した違反

優先度	ルール	重大度	行	修正内容
1	BD_EXCEPT_NP	1 (最高)	17	"str" の null チェックを追加
2	PB_TYPO_TLS	2	29	case18: ラベルを case 18: (switch case) に修正

残存違反 (未処理): UC_AUL (重大度 3, 行 29) - 今回の上限 2 件により未処理。次回実行で対応可能です。

最終サマリー

UTA 単体テスト 作成が完了しました。

項目	結果
作成されたテスト ケース	5
作成されたテスト クラス	1
テスト対象メソッド数	2
テスト実行結果	5 passed, 0 failed
修正が必要なテスト	0
削除されたテスト	0

作成されたテストファイル: src/test/java/examples/eval/SimpleTest.java

作成されたテストメソッド:

```

- testMap() - Simple.map(0) + 1 を検証
- testMapQ() - Simple.map(2) + 0 を検証
- testMapQ() - Simple.map(2) + 2 を検証
- testStartsWith() - startsWith("str", "") -> true を検証
- testStartsWith2() - startsWith("u0001", "match") -> false を検証

```

カバレッジは map() と startsWith() の両メソッドをカバレッジしており、可能な限り高い網羅率を達成しています。(method() は NullPointerException が発生するため除外)。変更はコミットされておらず、ローカル変更として残っています。

● 単体テストの自動生成

> jtest-unit-testing を使用して、単体テストを作成してください。カバレッジの網羅率を可能な限り上げてください。

図 2:自動修正と自動生成の利用イメージ

- 単体テストの一括生成機能の強化

これまで IDE 中心だった単体テスト生成を CI/CD パイプラインやコマンドライン環境から実行できるようになりました。ソースコードの変更に合わせて未カバー領域に対する単体テストを自動生成する機能を提供します。Maven や Gradle などのビルド環境へ容易に組み込むことができ、新しいコードがコミットされた際、変更されたクラスの未テスト箇所に対するテストケースを自動作成することができます。単体テスト作成に伴う手作業を大幅に削減し、開発チームの品質向上を支援します。

製品の詳細は Web ページ <https://www.techmatrix.co.jp/product/jtest/> をご確認ください。

また、Parasoft Corporation の詳細は Web ページ <https://www.parasoft.com/> をご確認ください。

- ・ 販売開始日

2026 年 8 月 27 日

- ・ 出荷開始予定日

2026 年 8 月 27 日

2026 年 8 月 27 日において、保守サービスをご契約いただいている Jtest のユーザー様には、「Jtest 2026.1」バージョンアップ製品を無償でご提供します。

■ テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス(東証プライム:3762)は、お客様のニーズに沿った最適な IT インフラと IT ライフサイクルをワンストップで提供する「情報基盤事業」、蓄積された業務ノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」、「医療情報をみんなの手に。そして、未来へ。」をテーマに健康な社会を支える医療情報インフラの構築に取り組む「医療システム事業」の 3 事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
テクマトリックス株式会社
ソフトウェアエンジニアリング事業部 Jtest 担当
E-mail : parasoft-info@techmatrix.co.jp
TEL : 03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。